

# 1 区画オーナー申込書

マグノリア農園の趣旨に賛同し、1 区画オーナーに申込みます。

ご希望の区画をお選びいただき、1～48の区画の中から、第1～3希望まで記載してください。  
お申込みが重なることが予想され、抽選を致します。抽選結果は4月10日頃までにご連絡いたします。

代表者氏名

代表者連絡先 〒

TEL : ( ) FAX : ( )

e-mail :

希望区画	第1希望	第2希望	第3希望
	区画	区画	区画
年間費	①	②	③
	48,000 円	120,000 円	240,000 円～

- ① まずは申込書記載の上、ファックス・メール・郵便のいずれかでお送りください。
- ② 抽選結果をお知らせ致します(4月10日までに)。  
ご当選された方には、登録用紙をお送りしますので、ご友人・ご家族など4～48名以内で記載し  
ご返送ください。48名すべて記載の必要はありません。
- ③ お振込み(4月24日まで)にお願い致します)
- ④ マグノリア農園ライフをお楽しみください！

<申込書送付先>

## NPO 法人マグノリアの灯事務局

〒969-0401 福島県岩瀬郡鏡石町境 445 番地

TEL & FAX:0248-94-7353 info@magnolias-licht.org

<お振込先>

### ▶ ゆうちょ銀行

店番 029 口座番号：当座 00220-8-50690 名義：トクヒ) マグノリアノヒ

### ▶ 東邦銀行鏡石支店

店番 224 口座番号：普通預金 353047 名義：特定非営利活動法人 マグノリアの灯

※大変恐縮ですが振り込みに係る手数料はご負担ください。

# Q&A 質問にお答えします。

---

## Q1| 六次化とは異なる経済観とはどんなものですか？

A1| 『土地は、先祖からの授かりものではなく、子ども達からの預かりもの』というネイティブアメリカンの名言があります。加工・販売をも取り入れて、農業者が利益をあげていく六次化の方向(獲得)も大切ですが、環境改善はじめ未来へ貢献する48次化 という新たな概念・経済観を私たちは提唱しています。詳細は、『バイオダイナミック農法の秘密』(マグノリア文庫5山本忍・橋本文男共著/ 2018年4月発行予定)をご参照ください。

## Q2| 放射能対策に有効なバイオダイナミック農法とはどんな農法ですか？

A2| 農薬を用い効率的な収穫を目指す現代の慣行農法をシュタイナーは「略奪農法」と表現しました。大地から奪う農法に対し、奪わず持続性を目指す自然農法、有機農法等、様々な試みがあります。マイナスから0へ、そしてプラスへと転換していく道がバイオダイナミック農法です。すべての成果は時間を空間に形体化したものとするなら、その時間を生み出すことが、プラスへの転換点です。シュタイナーは、天体の動きを読み取り同調・協働するための叡智(種まきカレンダー参照)とともに、動植物の力を借りたプレパラートを具体的手法として提示しました。プレパラートの本質は「時間の創出」であると私は考えています(詳細は『バイオダイナミック農法の秘密』参照)。

## Q3| 区画数等に現れる48という数字にはどんな意味があるのですか？

A3| 母の胎内で48日間かけてつくられた心臓は、49日目に拍動を開始します。(『心臓の秘密①』参照)心臓を模したマグノリア農園は、48という数字の本質を基盤に、世の中に善なるインパルスを生み出していきたいと考えています。共鳴する個人、団体との協働を願っています。

最初に代表者が申込み、登録後、賛同する方々 4～ 48名を随時集めて  
48,000円コース (1人1,000円x48人)  
120,000円コース (1人2,500円x48人)  
いただくことも可能です。3つのコースの1人頭の単価は右の通りです。  
240,000円コース (1人5,000円x48人)

## Q4| 1年に1度くらい(または0)しか行けなくても登録資格はありますか？

### 少しか協力したい場合の方法はありますか？

A4| もちろんOKです。野菜もお受け取りいただけます。年会費を一部分担することで、お知り合いのオーナーのグループに入ることもできます。ご協力いただける範囲をお知らせいただければ、1区画オーナーとのマッチングをはじめ、柔軟に対応いたします。

## Q5| 鏡石町にこの農園をつくられた理由は何ですか？

A5| 福島県は、東から「浜通り」「中通り」「会津」の3地域に分かれていて、気候・気温、文化に大きな違いや特色があります。鏡石町は、福島市・郡山市の南、猪苗代湖の南東、中通りに位置しています。浜通り(原発を擁する物質文明の象徴)と、会津(伝統・古き叡智、精神性)の両極を繋ぎ、中庸の道を行く場として相応しいと考えています。また、この畑は代々橋本家の田んぼでしたが、放射能事故後、耕作放棄地の3年間を経て、橋本文男氏が放射能対策を施し、畑として蘇らせたものです(現在の所有者は長男の直弘氏)。詳細は季刊誌「マグノリアの灯9号」(マグノリアの灯HP)に掲載しています。

## Q6| 見学・研修・ボランティア(子どもや障がいをもつ人たち)の受け入れはありますか？

A6| 見学は、ほぼ随時可能です。マグノリアの灯事務局にご連絡ください。研修の機会として、マグノリア・アグリ・キャンパスを月1回のペースで開催予定です。マグノリアの灯HPやFacebook等で随時、ご案内を更新しています。ボランティアはもちろん歓迎いたします。将来的に就労支援等を考慮していますが、事務局にご相談ください。

## Q7| 都内等、出張して講座やお話を開いてもらうことはできますか？

A7| もちろんOKです。マグノリア農園の野菜を実際に味わう会食会等、語り合う機会を提供いたします。むしろ一緒にアイデアを出していただければ幸いです。

★ その他ご質問、ご意見はマグノリアの灯事務局に遠慮なくご相談ください。

---